

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホーム岱明の里

作成日 : 平成23年10月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	入居者の能力を本人はもとより介護職員の把握不足・見守り不足、基本ルールの無視・入居者の状況観察や認識不足。	転倒事故0宣言	転倒事故が防げるものは防ぐように全体と個別の対策を立てている。グループホームでは高齢者が多く認知症で理解力の低下が見られる中「高齢者」=「転び易い」=「骨折」を強く認識し意識を高く持つ。無事故日数の掲示。無事故0の標語の唱和。転倒0への意識啓発。	1ヵ年
2	34	入居者の高齢化に伴い身体面の病状悪化の出現が高くなった。介護職の病状の知識不足。	急変時、全職員が対応できるようになる。(AEDの使い方等)	地域消防署からのAEDの指導、事業所へのAED設置があるので全職員が使える様に定期的に勉強会を開催する。	1ヵ年
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。